

## 製糖成績

項目	平成30/31年期 (当期)	平成29/30年期 (前期)	対前年比
製糖開始	H31年1月7日	H29年12月20日	
製糖終了	H31年4月16日	H30年4月3日	
製糖日数	100日	105日	△5日
原料圧搾高	126,351,963kg	149,749,999kg	△23,398t
産糖量	13,784,130kg	17,607,580kg	△3,823t
歩留	10.91%	11.76%	△0.85%
収穫面積	2,695ha	2,824ha	△129ha
単位収量	4,688kg/10a	5,302kg/10a	△614kg/10a
買入甘蔗糖度	13.40度	14.13度	△0.73度

今期、工場の機械類は糖汁調整設備更新など老朽設備のメンテナンス重視で優先順位をつけて修繕を行いました。全てには手が回らず、製糖中盤の2月9日の明け方、原料切れ停止から再稼働する際に工場内 30 インチ径の大型配管が真空圧力により損壊し、再開まで約 1 週間の工場停止に至ったことにより、生産農家ははじめ関係者には多大なるご迷惑をお掛け致しました。改めてお詫び申し上げます。

当工場は分蜜化して 60 年近くの歳月が経過し、部分的なメンテナンスは施しつつも老朽化は著しく、工場の心臓部となる大型ボイラーの解体～更新に 2～3 年を要するという物理的な障害とそれを支える建屋の耐震構造不足等もあり、将来に向けては現工場の維持は困難な状況にあることから新工場建設へ向けて取り組みを進めている状況にあります。沖縄本島のさとうきび生産農家を守り、本島糖業の灯を絶やさぬためにも、新工場建設へ向け国、県、本島各自治体、関係者のご協力を得つつ進めなければいけない時期に来ていることをご理解賜りたいと存じます。